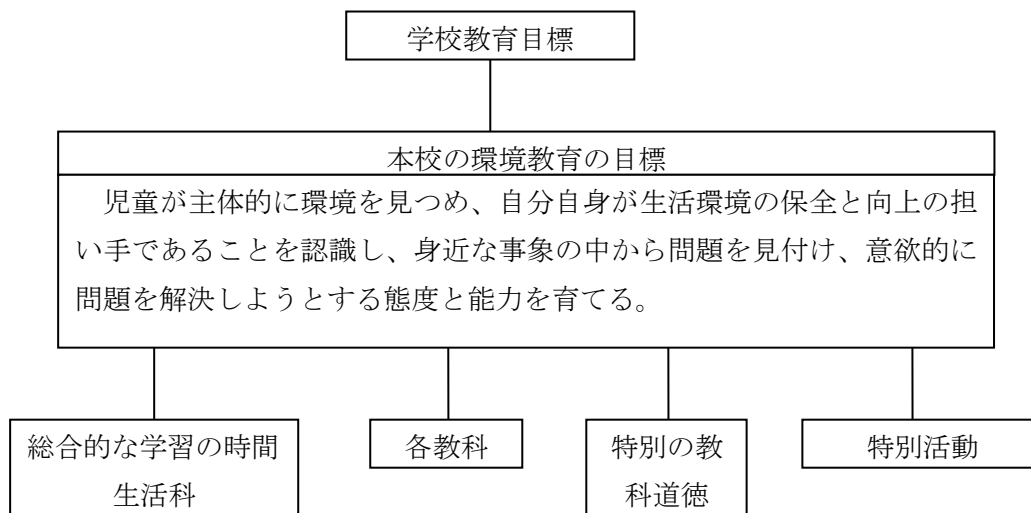


令和2年度 環境教育について

1 環境教育の目標

児童が主体的に環境を見つめ、自分自身が生活環境の保全と向上の担い手であることを認識し、身近な事象の中から問題を見付け、意欲的に問題を解決しようとする態度と能力を育てる。

2 全体計画



3 環境教育の指導の重点

- (1) 総合的な学習の時間、教科、特別の教科道徳、特別活動等の時間を通して、環境教育を総合的に扱い、身近な生活と環境問題とのつながりに気付かせ、よりよい環境づくりを主体的に進めていこうという態度を育てる。
- (2) 東小学校ならではの恵まれた美しい自然に触れる体験活動を多く取り入れることで、自然環境に興味をもたせ、環境に対する豊かな感受性を養う。
- (3) 諸活動の中で身近な環境問題を取り上げ、限りある資源を有効に利用しようとする実践的態度を身に付けさせる。

4 環境教育計画

各学年、環境教育に関する年間指導計画（総合・生活・教科・特別の教科道徳・特活等）を確認し、各学年2～3単元を実施していく。（資料1参照）

5 学校全体で取り組むこと

- ・ 各教室や特別教室など使用しない場合は、電気や冷暖房機、加湿器等の電源を切る。
- ・ 各教室のいらない紙などの古紙の回収に取り組む。

6 ユネスコスクール加盟校として

E S D（持続可能な開発のための教育）の取り組みを推進するにあたり「東小学校E S D環境教育カレンダーR2」を作成し、全体の取り組みの「つながり」「関わり」を深化・拡張させる。

令和2年度 教育課程における環境教育に関連する単元

(資料1)

学年	学習	内容	実施月
1年生	きれいにさいてね いきものとなかよし	生活科との関わりから、進んで自然とふれあい、自然の変化や、不思議さを感じ取り、それらを通して自然への関心を高める。	5月～7月 11月 2月
2年生	春だ今日から	生活科との関わりから、校内をまわって、草花や生きものを観察し、四季の変化や季節の移り変わりから身近な自然に対する関心を高める。	4月～5月
2年生	生きものなかよし大作せん	生活科との関わりから、地域で生きものを実際に探しながら、身近な自然を見つめることにより環境に対する意識を高める。	6月～7月
3年生	はたらく人とわたしたちのくらし	スーパーマーケットで行われる回収活動を知り、リサイクルの仕組みに関する意識を高める。	10月
4年生	ごみの処理と利用	社会科での学習との関わりから、家庭や学校、地域のごみについて調べたり、リサイクルについて考えたりして環境についての意識を高める。さらに、晴丘センターへ出かけて、ごみの処理方法や問題点などの話を聞くなど生活と自然環境についての学習を深める。	6月 7月 9月
4年生	自然のなかの水のすがた	社会科での学習との関わりから、安全な飲み水ができるまでの過程を理解し、「水の学習」を通して地域社会の一員として節水や水資源を守る意識を高めるとともに、生活と環境についての理解を深める。	6月～7月
5年生	わたしたちの生活と環境	社会科の学習との関わりから、身の回りの環境問題を考えるとともに、川や森林といった広い範囲での自然環境への関心を高め、視野を広げる。	2月～3月
6年生	生き物のくらしとかんきょう	空気、水、植物や他の動物との関わりから、影響の種類や大きさを調べることにより、関心を高める。地球環境に及ぼす影響や環境保全の大切さについて自分なりに考える。	2月～3月